


二次医療圏域の地域・職域が連携した取組


●事業の流れ

○「二次医療圏地域職域連携事業」説明会の開催

- ・実施主体：各二次医療圏協議会
- ・事業内容：圏域の健康課題を解決するための地域・職域
・学校が連携した取組事業
- ・予算額：各二次医療圏協議会 × 100万円（限度額）



○事業計画書の提出



○事業ヒアリング

ヒアリングメンバー：部長、局長、課長、労働局課長等

二次医療圏域の地域・職域が連携した取組(事例)

【地域全体へのアプローチ】その1

●チャレンジ組合(橋本医療圏)

理美容組合に健康情報の発信基地となってもらい、地域住民に健康づくりを啓発

健康課題

- 肺がんの死亡率が高い
- がん検診の受診率が低迷
- 喫煙率が高い(若い女性の喫煙率)

事業のねらい

理容店、美容院を地域住民の健康情報の発信基地と位置付け、禁煙や健診に関する情報を発信する。

事業内容

- 理容・美容の組合員を対象にたばこ対策及び健診の必要性に関する研修会の開催
- 禁煙パンフ、健診情報誌の提供(200店舗)
- メタボメジャーの配布

二次医療圏域の地域・職域が連携した取組(事例)

【地域全体へのアプローチ】その2

●ケーブルテレビを活用した啓発(新宮医療圏)

ケーブルテレビの普及率が高い地域特性を生かし、食生活・運動・禁煙などをテーマにした番組を制作し、健康情報や健診や保健事業に関する情報を地域全体へ啓発

健康課題

- 心疾患の死亡率が高い
- がん死亡率が高い
- 事業所におけるがん検診の実施率が低迷
- がん検診における制度間の隙間が生じている

事業のねらい

- 地域・職域間でがん検診受診体制の整備について協議し、地域全体へ検診受診の意識付けを行う
- 生活習慣病予防の意識の向上

事業内容

- 地域・職域ワーキングによるがん検診受診体制整備等の協議
- 生活習慣病予防をテーマにした番組の制作と放映
- 健診(検診)制度普及啓発